

発達障がいの当事者研究 と自己理解支援

第1部：特別支援教育における自己理解支援の展開（学齢期における自己との折り合い）

東京都の通級指導教室及び特別支援学級で、発達障がいのある子どもたち行動調整、社会性、集団適応の支援を長年されてきている森村美和子先生をお呼びし、ここ10年取り組まれている自分研究などの実践についてお話しいたします。

また、横浜市で、2E(Twice Exceptional; 才能と困難のある)のある子どもたちへの通級指導の実践を始められ、強みを生かした指導、社会性の指導、自己理解の指導を大切に、新たな通級指導教室・特別支援教室の可能性を切り開いている岡田克己先生に、これらの話題を提供していただきます。

第2部：自分自身で、ともに（青年・成人における当事者研究）

発達障がいという言葉が一気に広がりました。発達障がいがあると診断される人も増えました。それによりご本人とご家族の生活はどのように変わったでしょうか？発達障がいという言葉を用いることで、色々なことが説明がしやすくなった側面がありますが、一方で、言葉の使い方に気をつけなければ、発達障がいという新たな言葉に我々は過剰にとらわれ、その新たな言葉から固定観念を抱いてしまう危険があるでしょう。

「自分自身で、ともに」。外から与えられた言葉ではなく、自分自身の気づきから生まれた自分の特性や苦勞を、仲間とともに言葉にして積み重ねていくことで、とらわれから発見へ、固定観念から日々の生活へのコツへと変化します。「自分自身で、ともに」の実際を覗いてみませんか？

2019年11月17日 10時～15時

（10時00分 第1部スタート）

1. 強みと苦手さの自己理解を支える2E教育
一通級における自立活動の指導の新たな展開―
（岡田克己氏 横浜市立仏向小学校）
2. 発達障害・情緒障害における自己理解の教育
―学校生活の指導と自分研究所、ピフォアフター―
（森村美和子氏 東京都狛江第三小学校）

（13時00分 第2部スタート）

3. 発達障がいと当事者研究
（山本彩氏 札幌学院大学）
4. アンナプルナの当事者研究
（いちこ氏 相談室ぼらりす ピアサポーター）
5. 僕が旅を続けるわけ
（ST・KEN氏 相談室ぼらりす ピアサポーター）
6. 『感情がコントロールできなくて困ってる！』という苦勞
の研究
（ひろし氏 相談室 ぼらりす ピアサポーター）
6. ディスカッション
フロア・登壇者含めた質疑応答
コメント（山本彩氏）

（15時00分 終了）

場 所：北大 人文・社会科学総合教育研究棟
（W棟）W103 教室 *人数により変更有

アクセス：JR札幌駅、地下鉄北12条駅、徒歩10分
駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用くだ
さい。北大駐車場は使えませんのでご了承ください。

テキスト：「ほぼげっかん anandapura 第50号記念
特別編集 当事者研究ページとおしゃべりきよしクン」
（発行者「社会福祉法人はるにれの里 札幌市地域活動支援セ
ンターannapura」 当日、発表資料に加え、本テキストも配布い
たします。テキスト代は受講料に含まれています。



お申し込み方法

1. 専用のお申込用紙に、必要事項をご記載の上、下記メー
ルアドレスまで添付でお送りください。
2. メールの件名には『発達臨床セミナーⅡ 申し込み（お名
前）』と記載ください。
3. お申し込み後、こちらから、お知らせ、振込用紙等をお送
りいたします。振込用紙で参加費をお支払いいただき、返
信用封筒を用いて、振込受領証をこちらまでお送りくださ
い。受領証の確認（振込確認）を持ちましてセミナーの受
付完了となります。
4. 本セミナーは、対人援助職にある方に限定した講座にな
ります。教員、保育者、心理士、指導員、他対人援助職に
ある方、また、それらを専門に学んでいる学生・院生以外
の方は、お申し込みをお受けすることができませんので、
予めご了承ください。

申込先： seminarwisc4[at]edu.hokudai.ac.jp [at]は@に変更